第２学年英語科学習指導案

１．単元名　「絵や写真の人や物について説明をしよう」

　　　　　　(Sunshine English Course 2 PROGRAM7 If You Wish to See a Change)

２．単元の目標

（１）新出の言語材料を用いて、ペア、グループでの言語活動に積極的に取り組もうとしている。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

（２）既習表現を用いて、自分のことや絵や写真の内容について、言ったり書いたりすることができる。

　【外国語表現の能力】

（３）セヴァンさんに関する英文を聞いたり、読んだりして内容を理解することができる。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【外国語理解の能力】

（４）〈動名詞〉、〈look【become】＋形容詞〉、〈give＋人＋もの〉を用いた文の意味、用法を理解し、正しく

　　運用することができる。　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　【言語や文化についての知識・理解】

３．単元の評価規準

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ア  コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | イ  外国語表現の能力 | ウ  外国語理解の能力 | エ  言語や文化についての  知識・理解 |
| ①新出の言語材料を用いて、ペア、グループでの言語活動に積極的に取り組もうとしている。 | ①〈動名詞〉を用いて、自分の好きなこと等を表現することができる。  ②〈look＋形容詞〉〈become＋形容詞〉を用いて、人や物の様子や状態を表現することができる。  ③〈give＋人＋もの〉を用いて誰かに何かを与えるということを表現することができる。 | ①語句や文法の知識を活用して、セヴァンさんに関する英文、セヴァンさんの語りを聞いたり、読んだりして内容を理解することができる。 | ①〈動名詞〉、〈look【become】＋形容詞〉、〈give＋人＋もの〉を用いた文の意味、用法、文の構造に関する知識を身につけている。 |

４．単元設定の理由

　本単元では、環境保護運動に取り組んでいるセヴァン・カリス＝スズキさんについて、取り上げている。彼女のリオでの伝説のスピーチ以降の成長を追いながら、環境破壊をはじめとするいろいろな問題に取り組んでいる彼女の生き方や考え方に触れることによって、今後、何をすべきなのかを考えられる単元となっている。言語材料は、〈動名詞〉、〈look【become】＋形容詞〉、〈give＋人＋もの〉が取り上げられている。〈動名詞〉を使って、「好きなこと、楽しめること」を伝え合う活動を設定したり、〈look【become】＋形容詞〉では、身の回りの人や物の様子について、〈give＋人＋もの〉では、誰かに何かを与えるときの言語活動を設定したりすることができる。これらは、生徒にとって、身近な言語材料であるので、さまざまな場面を設定し、活動等の工夫をしながら、これらの表現を定着させることで、英語表現の幅をより広げ、表現したいという気持ちを高めることができると考えている。

本学級の生徒の多くは、基本的な授業規律や学習に向かう姿勢が身についている。また、ペアやグループ活動の際には、協力して取り組もうとする姿が見られる。一方で、「単語が覚えられない、書けない」「英文が上手く書けない」等、書くことに対して、抵抗を感じ、苦手意識を持っている生徒もいる。基本的な知識や技能が不十分な生徒も少なくなく、活動に対して消極的な面が見られる。そこで、誰もが学習に取り組みやすくなるように、これまで、ペア・グループ活動を取り入れながら、授業をすすめてきている。１学期に実施した大分県学力定着状況調査では、「語形・語法の知識・理解」の項目で、目標値を下回っており、文法に関しての定着が不十分であることが分かった。さらに、２年生になって、動詞の過去形、予定を表す表現、助動詞、文と文をつなぐ接続詞、to＋動詞の原形と新しい表現を学んでおり、表現の幅が広がる一方で、重要な語句や表現の多さに戸惑いを見せる生徒もいる。そこで、帯活動で単語や英文を定着させるために繰り返し練習をすることを心がけている。さらに、授業だけでなく、家庭学習等を利用して、文法事項を定着させるための問題に触れるようにもしているところである。

セヴァン・カリス＝スズキさんのスピーチは、国際的な環境を考える上で価値のある題材であると考える。

それらを読み取る段階にとどめず、心に残る言葉を抜き出し、その理由を交えながら感想を述べさせるところまで発展させたい。そして、自分たちがこれからどのような生き方をし、どのような地球環境をつくっていけばよいかという視点を芽生えさせたいと考えている。また、各セクションで学習する文法事項については、基本的な用法を理解し、その構文をパターンプラクティスにより慣れさせ、身近な題材を使って表現活動ができるようにしていきたい。本時では、〈動名詞〉、〈look【become】＋形容詞〉、〈give＋人＋もの〉を用いて、先生の誕生日に何かをあげるという設定で、ペアで英文を作成し、仲間に伝える活動を行う。活動の中で、生徒が、戸惑いを見せることが予想されるが、仲間と協力しながら、与えられた課題に対して取り組むことで、達成感を味わうことができ、「話すこと」「書くこと」への抵抗感をへらし、もっと活動したいという意欲を喚起させたい。

５．単元の指導計画と評価計画（８時間扱い）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | ◎ねらい・○学習活動 | 評価規準 | 評価方法 |
| 1 | ◎〈動名詞〉について、その用法を理解し、「～することを楽しむ、好き、始める、終えるなど」という表現を場に応じて用いることができる。  〇自分や友だちの「好きなこと」や「楽しむこと」を言ったり、書いたりする。 | イ①  エ① | 振り返りシート  活動の観察 |
| ２ | ◎〈look【become】＋形容詞〉について、その用法を理解し、それらを用いて、人やものの様子や状態について表現することができる。  〇絵や写真を見て、その様子や状態について紹介する文を作成する。 | イ②  エ① | ワークシート  発表 |
| ３ | ◎〈give＋人＋もの〉について、その用法を理解し、語順に気をつけながら、場に応じて適切に表現することができる。  ○〈give＋人＋もの〉の文構造を理解し、「誰に何をあげる」という英文を語順に気をつけながら、完成させていく。 | イ③ | 振り返りシート |
| ４  本時 | ◎本単元で学習した文法事項を中心に先生の誕生日に贈りたいものについての英文を書いて仲間に伝えることができる。  〇先生の誕生日に贈りたいものについて紹介する英文を書いて仲間に伝える。 | ア①  エ① | ワークシート  活動の観察  振り返りシート |
| ５ | ◎教科書Program７(Section1)の内容を理解することができる。  〇セヴァン・カリス＝スズキさんについてどのような人物か読み取り  日本語で要約をする。 | ウ① | ワークシート |
| ６ | ◎教科書Program７(Section２)の内容を理解することができる。  〇セヴァン・カリス＝スズキさんのその後について語った文を読み取り、日本語で要約をする。 | ウ① | ワークシート |
| ７ | ◎セヴァンさんの貧困に関する英文の内容Program７(Section３)を理解し、私たちが今できることについて考えることができる。  〇内容を理解させ、本文末の「What can we do ?」という問いに対する自分の考えを書く。 | ウ① | ワークシート |
| ８ | ◎セヴァン・カリス＝スズキさんのスピーチを通して、自分の考えや気持ちを書いたり、発表したりすることができる。  ○セヴァンさんのスピーチを見たり、その原稿を読んだりして、感想や自分の考えをまとめる。 | ア①  ウ① | ワークシート  活動の観察 |

６．本時案（８時間扱いの４時間目）

（１）題材名：先生の誕生日に贈りたい物を考えて仲間に伝えよう。

（２）主　眼：先生の誕生日に贈りたい物とその理由について、本単元で学習した文法事項を用いて、仲間に伝えることができる。

（３）展　開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習活動 | 時間 | 指導（○）及び支援（・） | 評価（※）備考 |
| １．Greeting and Warm-up  （１）あいさつをする。  （２）ペアで代名詞の復習をする。  ２．Review  〇前時に学習した〈give＋  人＋もの〉について復習を  する。  ３．Main Activity  （１）本時のめあてとどの  ような文を目指すか確認す  る。  （２）誰に何をあげるか、理由を含めながらペアで４文以上書く。  （３）仲間に伝えることができるように口頭練習する。  （３）発表し合う。  ・仲間の発表を聞き、聞き取った内容をワークシートに書き込む。  ４．Reflection  ・本時の学習を振り返る。 | ５  ５  ３５  ５ | ○ペアで代名詞の復習をさせる。  〇テンポよくすすめ、学ぶ雰囲気をつくる。  〇前時で学習した〈give＋人＋もの〉の英文を語順に気をつけさせながら、書かせ、前時の学習内容を確認する。  **先生の誕生日にあげたいものとその理由を考えて、仲間に伝えよう。**  〇本時のめあてを確認させ、どのような文を目指すかを示す。  ○本単元で学習したことをできるだけ用いて、ペアで４文以上書くことを伝える。  ・既習事項を視覚的に捉えることができるように  板書を工夫する。  ※考えがまとまらないペアにアドバイスする。  〇作った英文をペアで練習させる。  ※机間指導により、読み方の支援をする。  ○順番に写真を見せながら、「誕生日にあげたい物とその理由」を伝えさせる。聞いた生徒は、「誕生日にあげたい物とその理由」についてメモを取らせる。発表者には、自分たちが言ったことが、伝わっているかどうか、チェックをさせる。  〇本時の活動について、振り返りシートを記入させる。 | ・ペア活動  ・ワークシート  ※エ①  ・本単元で学習した文法事項を用いて、ペアで４文以上の英文を書いている。  ・ペア活動  ・ワークシート  ※ア①  ・「誕生日にあげる物とその理由」を伝えるために意欲的に取り組もうとしている。  ・振り返りシート |

６．板書計画

Friday November twenty-fourth Sunny

　　 　　　　Goal **先生の誕生日にあげたいものとその理由を考えて、仲間に伝えよう。**

　　Today’s sentence 主語＋like動詞のing形：～することが好きだ。

思います。　 　　私は、明日あなたにプレゼントを渡すでしょう。　　 主語＋enjoy動詞のing形：～して楽しむ。

I’ll give you a present tomorrow. 主語＋look＋形容詞：～に見える。

　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　 主語＋give＋人＋物

(主語)は、（人）に（もの）をあげる。

Today’s lesson

1.Warm-up

2.Review

3.Writing

4.Practice

5.Speaking

6.Reflection